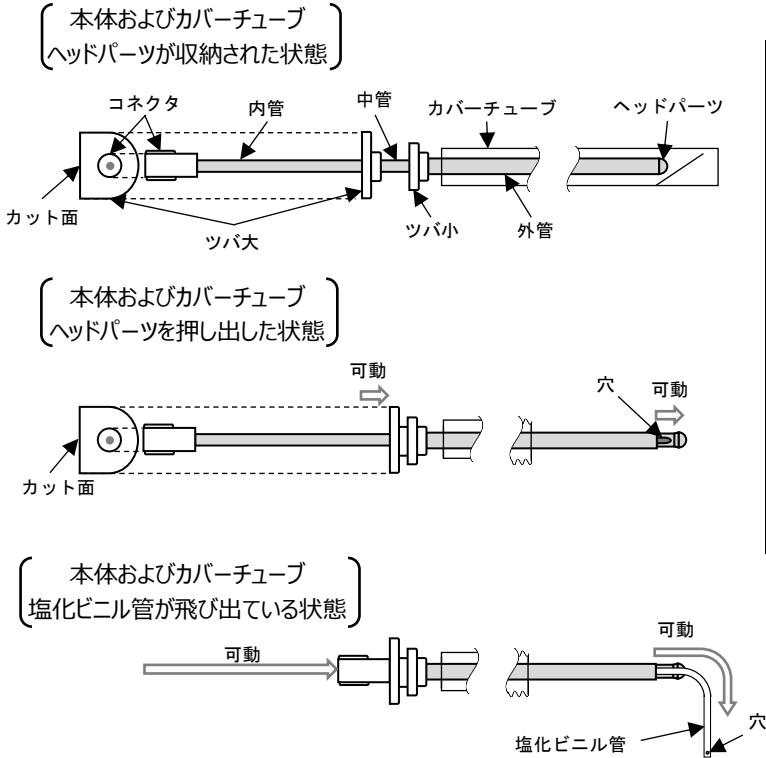


動物用子宮内注入カテーテル モ5号

【禁忌・禁止】
・本体の再使用禁止

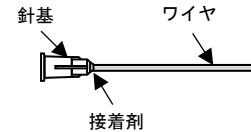
【形状・構造及び原理等】



【原料及び材料】

部位	名称	原材料
本体	ヘッドパーツ	ステンレス鋼
	外管	ステンレス鋼
	中管	ステンレス鋼
	内管	ステンレス鋼
	コネクタ	シリコンゴム
	ツバ大	ABS樹脂
	ツバ小	ABS樹脂
カバーチューブ	カバーチューブ	ポリエチレン樹脂
押し棒	ワイヤ	ステンレス鋼
	針基	ポリプロピレン
	接着剤	エポキシ樹脂

【押し棒：付属品】



【使用目的又は効果】

動物（主に牛）に使用されることを目的とした、受精卵もしくは精液を子宮内に注入するための器具である。

【使用方法等】

- 受精卵が入っているストロー管（0.25mL）もしくは精液が入っているストロー管（0.5mL）および空の注射筒（2mL程度）を用意する。本体の包装をコネクタ側から開ける。
（※包装は移植作業直前まで外さない）
コネクタの穴から、封止部を切り取ったストロー管をしっかり差し込む。
- ストロー管内に押し棒を挿入し、ストロー管の綿栓を押し棒で押し込むことで本体内部に受精卵もしくは精液を移動させる。
- 受精卵もしくは精液が流れ落ちないように本体の平行を保ちながらストロー管を引抜き、押し棒を2mL程度引いた状態の注射筒をコネクタに即座に挿入する。

- カバーチューブを被せたまま、本体を包装から取り出し、牛の膣に挿入する。子宮頸管を通る時にカバーチューブをコネクタ側に引っ張りヘッドパーツを突き破らせる。
- 子宮まで挿入しツバ大を押し込み、ツバ大のカット面を上にする。
（※子宮内でヘッドパーツの穴が下を向く）
- コネクタを押し込み、ヘッドパーツから塩化ビニル管を伸ばす。注射筒の押し棒をゆっくり押し込み、子宮内に受精卵もしくは精液を放出する。

【使用上の注意】

- 包装および製品について、破損・汚損等の異常がある場合は、使用しないこと。
- 本体の再使用禁止。
- 付属品（押し棒）の再使用時は、衛生状態に十分注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

水ぬれに注意し、高温・多湿・直射日光を避けて保管すること

【製造販売業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 : エア・ウォーター・リアライズ株式会社
 住所 : 茨城県笠間市長兎路 1320 番地 5
 TEL/FAX : 0296-77-8649 / 0296-77-8849

【製品に関するお問い合わせ先】

エア・ウォーター・リアライズ株式会社
 電話 : 0120-305-765
 〈受付時間 : 9:00~17:00〉